

授業概要

現代の社会には多様な職業や雇用形態、職場が存在し、個人は自己責任のもとそれらを選択することができる。キャリアとは、「個人が生涯を通して持つ一連の職業や、仕事と余暇を含んだ個人の生涯にわたるライフ・スタイル(生き方)」とも定義されており、広義には生涯発達や生き方全体に通じる概念である。本講義では、心理学の理論・概念への理解を深め、キャリア発達に関する知識や技能を獲得することを目的として講義する。

「キャリア自律」「キャリア発達」を支える理論や、自己と社会や働く場についての理解を深め、今後の学生生活や職業人生に生かすこともねらいとする。自身のキャリアを考える演習や、ワークやグループ討議など学生参加型の指導を取り入れるため、積極的な参加を求める。

授業計画

第 1 回	ガイダンス(授業の進め方など、キャリアとは)
第 2 回	多様な役割モデル(生涯を通じた発達段階)
第 3 回	職業興味の発達モデル
第 4 回	偶然を活かすモデル
第 5 回	転機や意思決定
第 6 回	統合的ライフプランニング
第 7 回	キャリアカウンセリング概論
第 8 回	中間総括
第 9 回	組織内でのキャリア発達
第 10 回	関係性アプローチと変幻自在なキャリア
第 11 回	キャリア構成理論
第 12 回	システム理論やデザイン思考の応用
第 13 回	キャリア自律とキャリア形成(アセスメントツール体験)
第 14 回	ワーキング心理学・キャリア支援実践例(外部講師の招聘を検討)
第 15 回	全体総括
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・キャリアやキャリア発達に関する主要な理論や考え方が理解できる。
- ・社会動向の変化や働く意味を考えることができ、自己決定のための望ましい態度を身につけることができる。
- ・自己や働くことに関する理解を深め、今後に向けてなすべきことを考えることができる。
- ・自分にとってのキャリア形成を考え、今後に向けた行動につなげることができる。

履修上の注意

- ・講義だけではなく、グループ討議やケース検討、ワーク演習など学生参加型の学修時間があることを理解したうえで履修すること。
- ・授業中の私語、授業と関係しない作業(携帯等の使用など)を禁止。30 分以上の遅刻は欠席扱い(電車遅延など合理的理由がある場合は、証明書の提出を)。
- ・受講学生の希望や状況、進み具合により、授業計画の順番を入れかえることや、内容を一部変更することもある。

予習・復習

- ・毎回、最後にポイントを確認する時間を取るため、復習に役立てること。
- ・ワークシート課題など、予習(宿題)を設定する回もある。

評価方法

授業内レポート 30%、中間レポート 20%、定期試験 50%を総合的に判断する。

テキスト

教科書指定はなし。授業用資料を毎回配布し、参考図書を適宜紹介する。